

市議会だより おおまち

198号

令和7年5月1日発行

3月定例会号



議会だよりライブラリーで
過去の議会だよりも見ることができます

特集	3月定例会 令和7年度予算可決……………	2～3 ページ
	行政視察報告 ……………	11・13 ページ
	みんなのひろば ……………	16 ページ



表紙写真 |
少し遅れた卒業式

式に出られなかった友を囲んで。
友情と笑顔。

画像提供者：市民の方

●表紙の写真を募集します！

令和7年度 大町市予算を可決

新年度予算（議案第24～32号）に関する委員会での審査や意見をまとめました。予算審査から見える令和7年度の新たな取組や問題点の主なものをお知らせします。

第5次総合計画 大町市の将来像『未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち』実現に向けて、事業の進捗度や達成度を考慮し、私たちのお金はどう使われているのか、喫緊の課題への対応や新たな取組について、予算の中で議論しました。

～大町市の将来像 「未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち」実現に向けて～

一般会計 **195億1300万円** 企業会計 特別会計 **125億4705万円**

※ 過疎債は活かしているか

可決

過疎対策事業債 12億8070万円

ごみ処理広域化推進事業負担金や旧第一中学校及び南小学校の学校再編環境整備、体育施設整備ほか、ソフト事業分等にも利用。

委員会での審査内容

Q 過疎債のソフト事業での用途は。

A 今年度は山村留学と公営簡易水道事業への繰り出しに使用予定。

Q 償還利子の額を削減するための借り換えはできるのか。

A 金利について市場の様子を見ながら検討し、国との協議の上、進めていきたい。

※ 用語解説 過疎債：過疎地域の指定を受けた市町村が使える地方債（借金）。自治体の負担が実質3割となっていて有利な起債。



旧第一中学校

街なみ整備、どのように進めるのか

可決

街なみ環境整備事業 2000万円

上仲町、下仲町のアーケード撤去に合わせ、官民連携によるハード事業として街なみを整備する上で、平成10年に策定し、平成21年に見直された計画書を現状の課題に合致したものに直すための整備方針・事業計画の改定業務に関する費用。



市街地のアーケード

委員会での審査内容

Q 内訳と今後の予定は。

A 委託料の多くは設計技師の人件費となる。前回の計画からだいぶ時間が経過していることもあり、事業成果の確認、現状の課題の整理等が必要となる。また、空き家調査を含めた現状の調査費用、自治会や民間団体との協議の場の運営費等を計上している。今後の予定としては、今年度に整備方針計画等を改訂し、来年度以降に実際のハード事業に入る予定であるが、中心となる中央通りについては、県の街路整備、上下水道課の雨水渠の長寿命化修繕等を含め計画する必要がある、並行して進めたい。

今年のインバウンド誘客対策は

可決

白馬バレーツーリズム（HVT）事業 950万円

大町市、白馬村、小谷村などの大北地域で、観光振興を目的とした広域型DMO（観光地域づくり法人）白馬バレーツーリズムをつくり、毎年事業を展開している。

委員会での審査内容

Q 白馬バレーツーリズムにおける今年度の事業展開は。

A 市では業者向けセールスが主で、旅行博等での一般顧客向けセールスは行ってこなかったが、白馬バレーツーリズムの活動を通じて東南アジア地域における旅行博等でのセールスを強化する。予算は、県より補助が出ていた分についてR6年より各行政で負担することとなり、昨年同様の予算を要求されたが、精査の上、圧縮を図った。

水道管の更新、当市は大丈夫か

可決

建設改良費 工事請負費 9500万円

新年度の水道管の更新工事は国道148号線において送水管の新設工事、また市道上原11号線ほかで配水管の布設替え工事を予定している。

委員会での審査内容

Q 今後の水道管の更新に対する考えは。

A 基本的には、耐用年数を超えたものから進めているが、経過年数が短くても漏水や老朽化が認められる場合には早めに更新していく。今後も管の状況等を見つつ、経過年数を踏まえ、計画的かつ効率的に進めていく。

お家での子育てに 応援グッズを。

可決

おうち子育て応援事業 337万円

保育所等を利用せずに子育てをしている家庭に応援グッズを送る。

委員会での審査内容

Q おうち子育て応援事業の内容と目的は。

A 保育所等を利用せずに子育てしている家庭で、対象児が年度末1歳2歳という家庭に応援グッズを送る。経済支援もあるが、家庭で育児をする保護者の孤立を防ぐための相談先等、情報の提供も目的としている。

国民スポーツ大会、準備が進む

可決

国民スポーツ大会施設整備事業 2億8030万円

サッカー場及び、陸上競技場の管理棟設置工事を行う。9月までには新たな管理棟が完成の予定。

委員会での審査内容

Q 国民スポーツ大会の終了後、サッカー場の稼働率を上げられる見通しはあるか。

A 市観光関係者とも連携し、スポーツ・ツーリズムなどに取り組むことにより、サッカー場の活用を図る。

小学校再編後、通学の安全確保は



政友クラブ 山本みゆき

Q 新小学校の開校を目前に、保護者から通学方法や通学路の安全について不安の声がある。再編後のスクールバス利用は学校からの直線距離2キロの線だけでなく、地域における通学路の安全性や、集団での通学になるかなど状況の把握や、学年や個人の体力差も考慮した検討が必要と考えるがどうか。

A 3月23日に検討している新たなスクールバス路線で試乗会を行い、コースや運行時間、バス停の位置など確認を行う。試乗会に参加された保護者や児童の皆さんからの意見も踏まえ検討を進める。スクールバスの乗車範囲を自宅から学校までの直線距離2キロメートル以内としているが、今後、バスの試乗



新小学校開校まで一年。通学する子どもたちの安全を第一に準備を

会等でのような意見が出てくるかにより検討する。スクールバスは現在、88名ほどの児童が利用しているが、再編後は200名増加する。バスの停留所にもかなりの人数が滞留することになり、天気の悪い日はどうするのか等バスの試乗会等を通じて保護者の皆さんの意見を伺う。通学方法が決定した後は広く周知を図り、改めて全ルートを対象としたスクールバス試乗会を開催する。また通学路については事前に通学路の推奨ルートを示し、通学路の安全点検をし、児童の通学の安全確保に注力する。

児童や保護者の不安解消に努める。

市長の思いはズバリ



市民クラブ 中牧盛登

Q 大学のあるまちづくりについて、改定された計画に市長の本気度が反映されているか。

A 計画としては、曖昧な文章表現があり、市長の思いが全て伝わっているかは、検討する余地がある。

Q 改定された計画には、産業・教育機関の研究研修施設等の誘致を推進するとしているが、高等教育機関と書けなかった理由は何か。

A 当然、高等教育機関をイメージしているが、幅広く間口を広げるという意味合いで教育機関という表記にしたものである。

Q わかりやすく言うところばかりした表現ということか。大学に狙いをつけるのなら、高等教育



旗じるしは下ろしません

育機関と書くべきではないか。

A その表記については、まだ素案の段階であることから、高等教育機関という表示にするということも含め検討したい。

Q この計画は、変更できる可能性があるのか。

A この計画は、令和7年3月改定となっていることから、議会の意見を聞いて、3月中には確定したい。

Q 市長は、改定される計画の内容で十分だと思っているのか。

A 大学のあるまちづくりという旗印を下ろすことはないと考えている。表現も基本的な考え方も再検討したい。

定住促進の事業PRを強化せよ



無所属クラブ 高橋正

Q 大田市の高齢化率が県内2番目の40%を超えた。厳しい現状について市の認識は。

A 社会の担い手不足、税収の減少、公共サービスの縮小等、地域の弱体化が危惧される。

Q 市は人口減少の速度を抑えなければならぬ。そのため移住・定住促進事業を強力に推し進める必要がある。またより具体的に効果的な戦略を練って、絶え間ない事業の推進が必要と思う。予算の中に「大田市定住促進協働会議負担金550万円」とある。協働会議の内容は。

A 市民、行政、関連団体や先輩移住者をメンバーに、定住人口増加を目的として平成24年設立した。



大田市の現状

Q また340万円の予算をつけた北アルプス連携自立圏移住交流事業の本身は。

A 圏域の5市町村で連携し、本年度は松川村と連携した。3泊4日で地域の人との交流を深めた。

Q 移住事業への具体的な資料などパンフを作成。様々な場所に置いて、希望者への配布を的確にせよ。

A 様々な情報発信をしているが、協力店の拡充を図り、様々な場所での情報発信に努める。

Q 移住希望者の心に寄り添うことが最も重要と思うが。

A 移住希望者の心に寄り添いながら、粘り強く取り組む。

情報を整理し的確な大町PRを



市民クラブ 中牧盛登

Q 市では多くのホームページを管理している。それぞれに維持費がかかり、負担も大きくなっている。各サイトの目的は達成できているのか。

A 開設当初はそれぞれの目的により運営していたが、現行の運営形態で行うことの効果やメリットが希薄になっている面はある。運営方法や情報を検証し、必要な更新を図り、見やすいサイトの構築を目指す。

Q 紙媒体の広報おまちを必要とする全世帯へ配布するため、電子版の周知を広めると共に、広報における広告収入を上げるなど、財源確保のための取組が必要ではないか。

A 電子版の普及は、スマホ講座を充実させるなどで努める。広

告掲載は広報やホームページ、SNSにおいて募集記事を増やし周知する。

教育予算は十分か

Q 近年、教育分野は小学校再編に伴う改修工事、山博改修、国スポーツとハード事業が多く、大きな予算が組まれているが、子どもたちに直接影響する学校運営費等は削減されている。子どもたちや現場が犠牲とならない予算措置となっているか。

A 現場の声に耳を傾け、予算を組んだ。潤沢とは言えないまでも、必要な予算確保に努め、望ましい教育環境の整備に力を尽くす。



広報は全世帯周知が原則。電子版広報の中はフルカラー

一般質問

一般質問は「代表質問」と「個人質問」があり、代表質問には各会派の代表が行う「会派代表質問」と、委員会の代表が行う「委員会代表質問」があります。

企業誘致、地元の正社員採用を



日本共産党大町市議員 栗林 陽一

Q 新設で最大4億円の助成金があるが誘致の促進に効果はあるのか。

A 助成制度は他の自治体も創設している。当市でも手厚い優遇制度で企業誘致を実現している。

Q 地元採用の正社員を義務化できないか。

A 新規※ 常用雇用者を伴う設備投資が助成金の対象となっている。令和5・6年度の雇用者のほとんどは常用雇用者として雇用されている。

松糸道路への対応は

Q ルート上の自治会住民の反対が大きいがどう対応するのか。

A これまでに3回の説明会

を行った。今後も対話による課題解決に向けた努力を行い、丁寧に進める。

Q 4月から専門に配置する職員にはどのような権限があるのか。

A 相談にも応じると共に、県と連携しながら対応を行う。新たに判断すべきことは県とも協議を行い決定していく。

子ども医療費の無料化を

Q 中信地区の市町村はほとんど無料化しているが大町市は行わないのか。

A 子ども医療費は国が一律に取り組む問題なので国に対して強く求めていく。市としては様々な支援や助成を行っている。

市町村		対象年齢 ※1	自己負担金	医療助成 ※2
北アルプス 地域	大 町 市	18歳	500円	なし
	池 田 町	18歳	500円	なし
	松 川 村	18歳	0円	なし
	白 馬 村	18歳	500円	なし
	小 谷 村	18歳	500円	なし
松 本 地 域	松 本 市	18歳	0円	2分の1
	塩 尻 市	18歳	0円	なし
	安曇野市	18歳	0円	なし
	麻 績 村	18歳	0円	なし
	生 坂 村	18歳	0円	なし
	山 形 村	18歳	0円	なし
	朝 日 村	18歳	0円	なし
	筑 北 村	18歳	0円	なし

池田町は令和7年中に実施

4月より塩尻市、安曇野市等県内15市町村が無料化されます

※ 用語解説

※1 常用雇用者：期間を定めずに雇用されている人や、1か月を超える期間を定めて雇用されている人を指す。また、一定の基準を満たす派遣労働者も常用雇用者に含まれる場合がある。

祭りの灯を次の世代に繋げよ



政友クラブ 中村 直人

Q 各地域のお祭りの継続が難しくなっている。若一王子神社の夏祭りも、開催時間の短縮をせざるをえなかった。次の担い手を育てるため、「お祭りは支えていかなければ絶えてしまうことや、支える大変さ」と楽しさを子ども達に伝えられないか。

A 郷土学習の冊子を改定、伝統文化継承の大切さを記載する等、お祭りが身近になるよう取り組む。

Q 誘客にも協力いただきたい。広報物を、白馬等の近隣市町村や、姉妹都市等へ頒布できないか。

A 県内市町村や、名古屋、大阪にある観光情報センター等への頒布が可能だ。情報発信に努めていく。

景観計画と街のアーケード撤去について

Q 令和3年から提案してきた景観を守る計画が策定される。他の条例と組み合わせどんな規制が可能か。

A 「美しい大町に美しく住む」をテーマに策定した。コンビニ等の店舗に落ち着いた配色を使用させることができる他、地区計画などにより、建物の高さ規制、太陽光発電施設の設置へ一定の規制も可能である。

Q 計画を、アーケード撤去後の中心市街地の美化に活かせないか。

A 市街地の方と連携し、アーケード撤去後の外壁修繕の他、歩道拡幅や無電柱化等に取り組みたい。



伝統行事は、支える住民がいて初めて成り立つ

そろそろ真剣に人口問題を考えよ



植松 悠一郎

Q 出生率の改善は、社会情勢に左右され難しいと思うがいかがか。

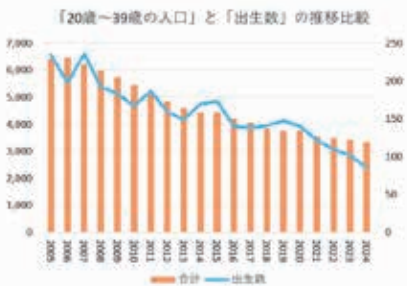
A その世代の人達が、前向きになれるよう対策を練っていきたい。

Q もう一度聞くが、出生率を増やすのは、転入者数を増やすことと比べて難しいと考えるがどうか。

A 単純に移住者を増やせば出生数が増えるものではない。

Q 出生率を増やすことが難しいかどうか聞きたかった。統計では、第一子出産年齢の年代別割合は、20代30代の合計が94%だ。それを証明するように市の出生数と20代30代を併せた人口の推移は同じ動きをしている。その認識はあるか。

A 毎年カウントしているのを把握している。



棒グラフは、20代30代人口の推移。折れ線グラフは、出生数の推移

子供医療費窓口500円の無償化はいつになるのか

Q 2016年の冊子に子育て日本一を目指すところがあるが今も目指しているか。

A 日本一を目指す考えに変更はない。

Q 同じ冊子に子ども医療費無償化を目指すところがあるがいつになるのか。

A 現時点では言えない。

Q 2018年の市長選の選挙公報にも高校生まで無償化するとあるが。

A 当時は、対象年齢を拡大するという意味で、2年前に達成済みだ。

本通りで出店しやすい仕組みを



政友クラブ 大竹 真千子

Q 空き店舗と新規起業家とのマッチングにおける対応の状況は。

A 賃貸可能な空き店舗の一覧などの形で情報が整理されておらず、店舗を探す希望者が個別に所有者と条件を話し合っている状況。

Q 移住と新規起業のような相談を受けた場合の対応は。

A まちづくり産業課や大町商工会議所、市内金融機関が窓口となり、立場や役割に応じ支援にあたっている。また、市で配置する創業支援アドバイザーが創業希望者の相談を受け、創業までのフォローをしている。

Q 中心市街地で、店舗部分を貸す意向や貸す上での障壁について等の意向調査をする考えはあるか。

A 意向調査を実施し、空き店舗情報を把握することは創業希望者と



創業支援のホームページ。空き店舗情報の掲載もあると便利

市長は職員の人権を侵害している



無所属クラブ 大和 幸久

Q 市長は職員のセクハラ事件で「保健師によるフォロー体制でしっかり対応している」と公言したが、被害職員は「一度もフォローされた事はない」と云う。誤りを認めるか。

A 紹介された言葉は確認していないが、その切ない気持ち、改めて、初めて申し訳ないと思う。

A 次回の質問までに確認する。

Q 市長は12月議会で「被害職員と直接面談して発言を訂正し、お詫びした」と答弁したが、職員は「市長からは、お詫びも訂正もされてない」「トップである市長が、女団連との意見交換会の場で『何回も同じ職場勤務したり、そんな間柄でありました』と言われれば、やっぱり、そうだったんだ。そういう間柄だったんだ。と思い込んで帰り、近所とかにばつと広がっちゃいますよ。どうして、ああいう公の場で、こういう言葉を使うのになって、思いまし



職員・市民の人権や尊厳が尊重される市に

※ 用語解説

※2 チーム担任制：学級担任を一人に固定せず、複数の教員で学級運営を分担するやり方。

市民の声は届いているのか



市民クラブ 小澤 悟

Q 当市が目指す、子育て日本一とはどのような状態か。

A 社会資源が充実して、安心して子どもを育てることができ環境が十分に整っている状態である。

Q ニーズに答えるためには保護者、子どもを直接聞くべきでは。

A 多くの意見を聞くためにも直接職員が意見を拾う場を作るという事を検討していく。

Q 学校の跡地利用の方向性は。

A 本年度中には学校跡地利用の基本方針を定めたい。

Q 小学校の先生の働き方改革のためにも※チーム担任制の必要性は。

A 先生方の働き方改革のためにも検討する必要性がある。



卒業式を終え、春の訪れを待つ西小学校

接続率向上の為に指導の強化を



政友クラブ 西澤 和保

Q 下水道の接続率が向上しないのは何故か。

A 高齢化や経済的理由等が理由。指導を聞き入れない場合もある。

Q 一部の理由については法に基づき強い指導も行すべきでは。

A 指導はしても罰則等が無く苦慮している、粘り強い指導を行う。

充実した情報センターに

Q 美麻・八坂地区に光通信網が整備されるが情報センターの役割は。

A 辺地債での光通信網の整備を機に、審議会の意見を通じ、情報網を生かす取り組みで、身近で魅力ある情報センターとしたい。

Q 美麻・八坂・平地区等、高齢者も安心便利で楽しく過ごせる医療



接続率向上を強化し下水道の適正な運営と事故無き維持管理を

大町農業緊急事態。パート2



峻嶺会 一本木 秀章

Q 米不足の要因と今後の動向は。

A 米価高騰の原因は、大手集荷業者への米の集荷量の減少や、昨年8月の南海トラフ地震臨時情報による需要の急増などの要因が、複合的に作用して需給のバランスが大きく崩れたことが考えられる。

今後、備蓄米の放出により一時的な価格の安定化に寄与する可能性はあるが長期的な価格の安定には、生産量の安定的な確保と流通の効率化などの対策が考えられる。

Q 農業者の高齢化や担い手不足、後継者不足を解消する対策は。

A 新規就農者対策として、青年就農給付金事業や、移住・定住の就農希望者に対して「農林業×移住、北アルプスの麓で自然と共に暮ら



令和3年以降は米の需給バランスが崩れている

超高齢者社会について

Q 老老介護の対策は。

A 地域包括システムの活用や介護者支援プログラムを活用し行う。

Q 地域計画での農業振興は。

A 地域計画の策定により、農用地の適切な配置や農地の集積等が効率的に進み、地域が連携して取組むことが期待でき、持続可能な農業の推進ができる。

市役所に電気自動車は不要だ



堀 堅一

Q 2050年までに市保有の全車を電気自動車に替えるなんて絶対にダメだ。SDGsの理念に酔いしれて市の未来を誤ってはならない。電気自動車を増やそうという市の考えには全く同意できない。

A 国の地球温暖化対策実行計画に公用車の低炭素対策と電動車の導入率100%を目指している。議員指摘のとおり電動車の普及率の低さや、充電設備の不足も見られるので、社会環境を見ながら状況に応じた導入の在り方を検討する。

自転車通学について

Q 飛び出す通学自転車に高齢者の不安は増している。交通ルールを守らない生徒には自転車通学を停止するなどの対策が必要だ。

A 市民の方から生徒の危険な自転車の乗り方について、通報がある事もある。罰則も時には必要だがまずは適切に指導したい。

市内の道路陥没について

Q 市内でも道路陥没は起きている。特に本通りの水路脇での空洞化については深刻なので、レーダー探知機で調査すべきだ。

A 昨年度も仁科町交差点で陥没事例が起きている。早期に本通りの歩道下の川の現況を確認して、その取扱いについて検討する。



自転車の加害事故は増加。小学生以上は大人と同じ責任だ

八坂診療所の常勤医師確保を図れ



日本共産党大町市議員 宮田 一男

Q 八坂診療所は昨年新築となったが、週3日診療が続いている。今後の対応は。

A 大町病院からの医師派遣で週3日の診療体制を維持したい。

Q 週5日診療が本来の姿だが、八坂は、3日で良いのか。

A 5日間常勤状態が望ましい。大町病院から5日間の医師派遣ができるか。

A 大町病院からは最大3日間の派遣となる。常勤医師確保には、医師募集が一番いい。(藤本病院長)

Q 医師確保に向け募集すべき。

A 募集が一番だ。(民生部長)
早期に正常な状態に戻るように取り組んでゆく。(牛越市長)

上水道料金の統一を

Q 合併協議会の調整内容では、旧大町市・八坂村・美麻村の上水道料金について、格差が大きいため、15年を目途に料金を統一するとしているが、合意事項の実現は何時か。

A 合併時の合意事項として重く受け止めているが、人口減少等社会状況が変容しており、審議会の検討結果を踏まえて、慎重に判断する。

Q 助成金額の増額拡充を。

A 支援員の補助単価は上げた。屋根除雪費助成は、新年度検討する。



八坂地域住民の拠り所。新築された八坂診療所

福祉的な視点で被災者支援を



おおた しょうじ 太田 昭司

Q 災害時には避難所となる小中学校体育館に「空調設備」を設置すべきと考えるが、市の見解は。

A 体育館本体の建て替えや全面改修に合わせた設置や、移動式冷暖房機器の備蓄等も研究する。

Q 災害時に最も重要な「被災者台帳」の作成に有効な「被災者支援システム」の導入を提言する。

A 他の自治体の動向を踏まえ検討を進める。

Q 障がい者団体等と連携し、障がい者の方々のための防災訓練をぜひ開催してほしい。

A 関係団体と意見交換や情報共有し具体的な取り組みを進める。



真冬の能登半島地震でも避難所の寒さ対策は大きな課題に

大町ダム等再編事業 土砂輸送トンネル工事視察

令和7年3月17日、大町市議会は、大町ダム等再編事業である土砂輸送用トンネル工事を視察しました。これまで県内では、たびたび洪水による甚大な被害が発生していました。本再編事業は、大町市内の高瀬ダム、七倉ダム、大町ダムの三つのダムが効果的に連携を行うことで信濃川水

系の洪水調節機能を確保するためのものです。本事業の中心となるのが、流入土砂が多い高瀬ダムの堆砂対策です。高瀬ダムの堆砂を11キロメートル離れた筆川右岸まで運ぶ土砂輸送トンネルの建設がこの3月から始まり2028年2月末に貫通する予定です。



トンネル工事の現地視察の様子

議案の審査と採決のながれ
 本会議で議案の提案↓各常任委員会に付託（審査を任せる）↓委員会審査↓本会議で審査内容報告↓採決
 採決前に、議案に対する賛否について討論で意見を述べるができる。

議員が質した3月定例会

こんなことが決まりました！

議案第25号

大町市及び大北4町村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について

■結果 全会一致で可決

議案の概要

北アルプス連携自立圏における実施事業の中に広域観光分野で^{※3}産業連関分析事業があったが、終了したため広域観光分野が削除されることとなった。

委員会審査

Q 広域観光分野が削除されることだが影響は。

A 北アルプス連携自立圏での事業以外にも北アルプス管内での様々な広域連携事業があるため広域観光に関してはそちらで展開していく。

※3 産業連関表 ある地域内の1年間の経済活動について、産業間や産業と消費者などの財・サービスの取引関係を一覧表にまとめ、地域内の経済循環を明らかにしたものです。

議案第18号

令和6年度
大町市一般会計補正予算（第8号）

■結果 賛成多数で可決

文化芸術振興補助金は不採択

議案の概要

北アルプス国際芸術祭の事業予算に見込んでいた文化庁の補助金在不採択となったことにより、文化振興費について3千万円減額の補正となった。

委員会審査

Q 文化庁の文化芸術振興費補助金在不採択になった要因は何か。

A これまでの芸術祭でもこの補助金にエントリーし採択を受けてきた。令和5年度まではイベント単体にも活用できる補助金であったが、令和6年度からは、文化庁の方針転換によりイベント単体には補助しないこととなり、方針に合致するよう、総合的な文化施策という形でエントリーしたが不採択となった。

議案第33号

工事請負契約の締結について

■結果 全会一致で可決

文化会館照明LED化工事

議案の概要

脱炭素化、文化会館の照明を省電力のLED照明へ変更する工事を行う。

委員会審査

Q LED電球の耐用年数は10年とのことだが、10年後に電球交換する際は、また2億円かかるのか。

A 照明器具は交換の必要がなく、購入したLED電球を職員が天井裏から交換することになるため、電球の購入費用だけで済むことになる。

行政視察報告

議会運営委員会
議会だより編集委員会

合同視察

●日程 令和7年1月24日

●内容 関心を持たれる議会へ（神奈川県開成町議会）

一言でいえば、開成町議会は、「住民と議会の距離が近い。」それを実現するための議員のモチベーションが高く、議会が一つのチームとして議会の目指す方向を向いていると感じました。

まず、議会広報は、タブロイド判を導入し、幅広い世代が手にしやすい様々な工夫がなされている。次に、議会ホームページでは、各議員の一般質問の予告動画から本編、質問後の所感動画を掲載する等、動画を中心に構成されている。

当市議会においても近く導入されるタブレットを市民益となるよう運用していくための改革が必要であると感じました。

また、議会におけるハラスメント防止条例についても視察をしてきました。

詳しくは大町市ホームページに行政視察報告書を公開します。

臭気対策特別委員会
現地視察



大町市での視察の様子



射水市での視察の様子

令和6年度臭気対策特別委員会では、大町市常盤の（株）アース・コーポレーション長野支店（大町プラント）の現地視察を令和7年2月19日に、翌2月20日は、同社の主力工場である富山県射水市の「射水プラント」を現地視察しました。

大町プラントに関して、「新しい設備を検討すると説明を受けたが予定は」と質問があり、担当者から「乾燥施設の導入を検討したが断念した。理由は、現在の施設が土砂災害防止法上のレッドゾーンやイエローゾーンに係っており、本来なら建てられない場所であり、増設は困難である」との説明がありました。

令和7年3月定例会 提出案件の審議結果

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案 件	日本共産党	無所属クラブ	市民クラブ	政友クラブ				峻嶺会	公明	無	無	結 果				
		宮田 一男	栗林 陽一	大和 幸久	高橋 正	中牧 盛登	小澤 悟	山本みゆき	大竹真千子	中村 直人	西澤 和保	二條 孝夫		一本木秀章	傳刀 健	太田 昭司	堀 堅一
議案第15号	大町市税条例等の一部を改正する条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	令和６年度大町市一般会計補正予算（第８号）	●	●	●	●	○	○	○	○	○		○	●	○	○	○	原案可決
議案第24号	令和７年度大町市一般会計予算	●	●	●	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	令和７年度大町市国民健康保険特別会計予算	●	●	●	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	令和７年度大町市水道事業会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	令和７年度大町市公共下水道事業会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議事第 1号	大町市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

◇全会一致で承認・同意・可決された案件

議案番号等	案 件	結 果
報告第1号	専決処分の報告について専第1号 令和6年度大町市一般会計補正予算（第7号）	承認
報告第2号	専決処分の報告について専第2号 令和6年度大町市水道事業会計補正予算（第4号）	承認
報告第3号	専決処分の報告について専第3号 令和6年度大町市温泉引湯事業会計補正予算（第2号）	承認
報告第4号	専決処分の報告について専第4号 令和6年度大町市病院事業会計補正予算（第4号）	承認
議案第1号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第2号	大町市及び池田町における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	原案可決
議案第3号	大町市及び松川村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	原案可決
議案第4号	大町市及び白馬村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	原案可決
議案第5号	大町市及び小谷村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	原案可決
議案第6号	大町市辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第7号	市道路線の廃止及び認定について	原案可決
議案第8号	大町市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第9号	大町市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第10号	大町市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第11号	大町市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第12号	大町市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第13号	大町市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第14号	大町市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第16号	大町市定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第17号	大町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第19号	令和6年度大町市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第20号	令和6年度大町市水道事業会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第21号	令和6年度大町市公営簡易水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第22号	令和6年度大町市公共下水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第23号	令和6年度大町市病院事業会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第26号	令和7年度大町市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第28号	令和7年度大町市公営簡易水道事業会計予算	原案可決
議案第29号	令和7年度大町市温泉引湯事業会計予算	原案可決
議案第31号	令和7年度大町市農業集落排水事業会計予算	原案可決
議案第32号	令和7年度大町市病院事業会計予算	原案可決
議案第33号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第34号	大町市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第35号	令和6年度大町市一般会計補正予算（第9号）	原案可決

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」
議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない



3月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。

議案第18号

令和6年度大町市一般会計補正予算（第8号）

原案に反対

一般財源からの補填ノー
国際芸術祭への国補助金
が不採択となり、不足額を
一般財源から支出することは
市民の理解は得られません。
（宮田一男）

何も残らない芸術祭

この理由で国は第3回芸術
祭の補助金3千万円を止め
た。市はこの時点で市民に説
明し、実施の是非を問うべき。
（大和幸久）

原案に賛成

挑戦を
否定すべきではない
助成金が獲得できなかった
ことを理由にした否決は、職
員のチャレンジや議論への萎
縮に繋がることを懸念する。
（中村直人）

議案第24号

令和7年度大町市一般会計予算

原案に反対

令和7年度一般会計予算に反対

松糸道路に反対している住民の意見が無視されることになるので
反対。（栗林陽一）

芸術祭関連予算に反対

北アルプス国際芸術祭実行委員会は、予算の全てを市補助金に依
存する体制からの転換が必要である。（宮田一男）

市長・理事者の処分を

令和5年、立て続けに起きた不祥事の責任と処罰がいまだになさ
れていない。信頼回復のためにも実行すべき。（大和幸久）

原案に賛成

「人を育む」施策に重点を置いた予算配分

大型事業も重なり過去最大の予算規模。事業の見直しや検証を継
続的に行い、適正な財政規模を意識すること。（大竹真千子）

優先順位はどこにあるのか

普通建設事業費は例年は12億円。新年度は24億円。小学校の授業
に使う備品の予算は200万円から20万円へ減少。（植松悠一郎）

原案に賛成

人口減は極めて深刻だ。将来に続く地域をどのように創り上げて
いくのか、市長、全職員が危機感を持ち、本気で取り組むことを願う。
（山本みゆき）

議案第15号

大町市税条例等の一部を改正する
条例制定について

原案に反対

マイナカードの利用推進に反対
マイナンバーのスマホ搭載での
利用推進は情報漏洩の危険がある。
（栗林陽一）

議案第25号

令和7年度大町市国民健康保険
特別会計予算

原案に反対

八坂診療所の診療日を5日に
週3日診療での予算となっている。
地域の願いは、5日診療。常勤医師の
確保に、早急に医師募集を。（宮田一男）

原案に賛成

引き続き協議を
八坂診療所の診療体制は、地元との
協議を重ね対応を検討する。他の内容
も重要であり賛成とした。（西澤和保）



Vol.29

みんなのひろば

議員が市民のみなさんの声取材してつくるみんなのひろばです。
今回は新一年生の中学生のみなさんにインタビューしました。

新中学生 1年生のみなさん

① 将来の夢

② 理由

① 俳優

② 俳優の菜々緒さんに
憧れたから。

大町中学校（西小）

にしざわ かなた

西澤 大空さん

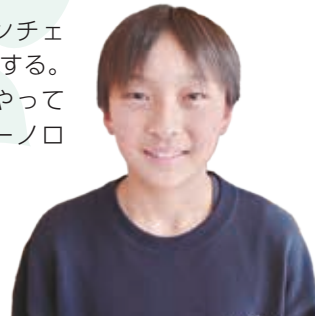


① プロサッカー選手（マンチェ
スターシティ）に所属する。
② お父さんがサッカーをやっ
ていたから。クリスチャーノ
ロナウドのプレーをみて。

大町中学校（南小）

ひらいで りゅうの すけ

平出 龍之介さん



① 美容師になりたい。
② 趣味のダンスの影響で見
方を大事にしている。いつ
もお願いする美容師さんへ
のあこがれもある。

大町中学校（東小）

やまぐち し お

山口 心桜さん



① 歌手になりたい。
② もともと歌うのが好き。歌
番組に出ている歌手を見て
憧れが強くなったから。

美麻小中学校

かん べ

神戸 ましろさん



① 学校の先生・監察医・警
察官
② ドラマ等を見てかっこよ
かったから（憧れ）

八坂小中学校

まるやま さとみ

丸山 智海さん



① 好きなことを仕事にして
いきたい。
② 料理や小物、漫画、アニ
メとか、好きなものを仕
事できたら嬉しい。

大町中学校（北小）

かさぎ あまね

傘木 天音さん



次回6月定例会予定

○開 会 6月2日(月)午前10時～
○一般質問 6月11日(水)～6月13日(金)
○最 終 日 6月24日(火)午前10時～ 討論・採決

傍聴にお越しの際は

○傍聴をご希望の方は議会棟2階の議会事務局で
申込書をご記入ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送し
ています。録画・再放送もご覧いただけます。

大町市議会 議会中継

本会議の
生中継



あとかき、
大町市の将来の方向
性は毎年の予算編成に
かかっている。前年や
慣習を踏襲するだけ
は、少子化、高齢化、
人口減少に対応するこ
とは出来ない。本年度
の予算を執行しながら、
事業の効果の検証、調
整や整理、見直しなど
業務マネジメントを固
められることを願う。
(山本みゆき)



議会だより編集委員【委員長】 一本木秀章 【副委員長】 大和幸久
【委 員】 植松悠一郎 中村直人 栗林陽一 小澤悟 大竹真千子 山本みゆき

